

1 新規就農者による「夏秋いちご」の産地力強化

～ 新規就農者の技術力向上による経営安定化 ～

【概要】

- 下北地域における夏秋いちごの産地力強化を図るため、新規就農者の栽培技術向上とスマート農業技術を活用した多収・安定生産技術の確立に取り組んだ。

【背景・課題】

- 下北地域では夏秋いちごの産地化が進んでいる。
- 生産者の約3分の2が新規就農者で、その多くは非農家からの新規参入である。
- 産地の維持・拡大に向けて、新規就農者の技術力向上と経営安定化が課題となっている。

【普及指導活動の内容】

- 夏秋いちごレベルアップ研修会を開催し、適正栽培管理指導に加え、新品種やスマート農業関連の先進地を視察した。
- 冬期にミニ勉強会を開催し、新規就農者や就農予定者に対し、農業の基本技術を講習した。
- 個別巡回により、生産者各々の課題に指導・対応した。特に新規就農者2名に対しては重点的に指導した。
- 篤農家2名に「新規就農アドバイザー」を依頼し、相談体制を強化した。
- 管内の新品種試作ほ場を予備調査し、研修会等で情報提供した。
- 自動施肥かん水機器の導入ほ場にスマート農業試験展示ほを設置し、生育・土壌診断に基づく施肥管理を検討した。

【成果】

- 研修会や講習会、アドバイザー、個別巡回等の指導により、適切な栽培管理を行う生産者が増加した。
- 新規就農者への重点的な指導により、2名のうち1名は目標収量を達成した。
- 新品種の情報が共有され、令和5年から3名が本格導入し、1名は苗増殖に取り組む見込みとなった。
- 自動施肥かん水システムの試験展示ほの成績検討会を開催し、適切な管理方法について理解が深まった。

【対象者】

J A十和田おいらせ野菜振興会むつ支部いちご部会（21名）、新規就農者10名（重複あり）



目揃え会（5月）



個別巡回でカミシ被害の相談に対応（7月）



レベルアップ研修会（10月）